



2019年9月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年2月6日

上場会社名 株式会社ETSホールディングス
 コード番号 1789 URL <https://ets-holdings.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 三森 茂
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 中澤 文雄
 四半期報告書提出予定日 2019年2月13日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 03(5957)7661

(百万円未満切捨て)

1. 2019年9月期第1四半期の連結業績(2018年10月1日～2018年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年9月期第1四半期	1,340	14.8	29		26		31	
2018年9月期第1四半期	1,574	23.4	74	113.0	73	52.2	55	121.5

(注) 包括利益 2019年9月期第1四半期 31百万円 (%) 2018年9月期第1四半期 55百万円 (121.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年9月期第1四半期	4.90	
2018年9月期第1四半期	8.78	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年9月期第1四半期	3,482	2,085	59.9	327.43
2018年9月期	4,110	2,148	52.3	337.33

(参考) 自己資本 2019年9月期第1四半期 2,085百万円 2018年9月期 2,148百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年9月期		0.00		5.00	5.00
2019年9月期					
2019年9月期(予想)		0.00		5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年9月期の連結業績予想(2018年10月1日～2019年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,507	9.9	34	42.2	32	44.0	22	47.9	3.61
通期	6,560	5.1	309	68.1	306	69.5	237	126.3	37.34

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年9月期1Q	6,375,284 株	2018年9月期	6,375,284 株
期末自己株式数	2019年9月期1Q	6,277 株	2018年9月期	6,277 株
期中平均株式数(四半期累計)	2019年9月期1Q	6,369,007 株	2018年9月期1Q	6,369,053 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国の経済は、企業収益や設備投資の改善および堅調な雇用環境が続くなか、景気は緩やかな回復基調で推移しましたが、米中貿易摩擦問題や中国経済の成長鈍化によって世界経済の減速懸念が強まり、景気の先行きは一層不透明な状況となっております。

建設業界におきましては公共投資・民間設備投資とも底堅く推移しましたが、依然として受注競争の激化や建設技能労働者不足が続くなど、経営環境は厳しい状況で推移しました。

このような状況の中、当社グループは、工事量と利益確保の経営方針を継続し、グループを挙げて営業活動を積極果敢に展開するとともに、原価の低減、業務の効率化による労働生産性の向上に努めてまいりました。

以上の結果、当社グループの第1四半期連結累計期間の売上高は13億4千万円（前年同四半期比14.8%減）となりました。

利益につきましては、工事採算が改善できず売上総利益が低下したことなどの影響により、営業損失は2千9百万円（前年同四半期は7千4百万円の営業利益）、経常損失は2千6百万円（前年同四半期は7千3百万円の経常利益）となり、親会社株主に帰属する四半期純損失は3千1百万円（前年同四半期は5千5百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(電気工事業)

電気工事業については、特別高圧変電所工事は順調に推移したものの太陽光発電所工事の減少に加え、一部の不採算案件により原価が増加したことから、当第1四半期連結累計期間の売上高は11億2千6百万円（前年同四半期比14.6%減）、セグメント損失（営業損失）は1千8百万円（前年同四半期は8千3百万円のセグメント利益）となりました。

(建物管理・清掃業)

建物管理・清掃業については、手持工事は順調に進捗しましたが、価格競争が厳しい環境下であり、当連結会計年度の売上高は2億1千4百万円（前年同四半期比15.9%減）、セグメント損失（営業損失）は1千万円（前年同四半期は9百万円のセグメント損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ6億2千7百万円減少し、34億8千2百万円となっております。また、負債合計は、前連結会計年度末に比べ5億6千4百万円減少し、13億9千7百万円となっております。純資産合計は、前連結会計年度末に比べ6千3百万円減少し、20億8千5百万円となっております。

資産の減少の主な要因は、現金預金8億6千万円の増加もありましたが、受取手形・完成工事未収入金等11億9千7百万円の減少及び未収消費税等2億1千8百万円の減少によるものであります。

負債の減少の主な要因は、未成工事受入金9千2百万円の増加もありましたが、工事未払金6億3千4百万円の減少によるものであります。

純資産の減少の主な要因は、利益剰余金6千3百万円の減少によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年9月期の通期の連結業績予想については、今後の完工、受注予測を踏まえた結果、「2018年9月期決算短信（2018年11月14日付）」で公表した連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	1,076,356	1,936,990
受取手形・完成工事未収入金等	1,964,668	767,295
未成工事支出金	130,019	82,826
未収法人税等	11,077	—
未収消費税等	226,135	7,628
繰延税金資産	47,140	—
その他	46,308	42,840
貸倒引当金	△1,638	△15
流動資産合計	3,500,067	2,837,566
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物	373,167	373,167
機械・運搬具	390,168	391,158
工具器具・備品	169,016	172,240
土地	328,042	328,042
減価償却累計額及び減損損失累計額	△738,974	△750,985
有形固定資産合計	521,420	513,622
無形固定資産		
のれん	2,893	1,157
その他	13,236	11,595
無形固定資産合計	16,130	12,753
投資その他の資産		
投資有価証券	50,000	50,000
繰延税金資産	699	45,493
その他	29,972	29,434
貸倒引当金	△7,795	△6,006
投資その他の資産合計	72,877	118,921
固定資産合計	610,428	645,297
資産合計	4,110,495	3,482,864

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
負債の部		
流動負債		
工事未払金	1,297,278	663,010
短期借入金	300,000	300,000
未払法人税等	11,821	5,608
未払消費税等	10,544	5,440
未成工事受入金	92,607	185,563
賞与引当金	12,465	5,527
工事損失引当金	3,163	3,189
完成工事補償引当金	1,210	1,290
その他	139,911	145,044
流動負債合計	1,869,002	1,314,673
固定負債		
再評価に係る繰延税金負債	6,163	6,163
退職給付に係る負債	71,911	63,704
その他	14,975	12,932
固定負債合計	93,051	82,800
負債合計	1,962,054	1,397,474
純資産の部		
株主資本		
資本金	989,669	989,669
資本剰余金	763,694	763,694
利益剰余金	573,182	510,131
自己株式	△1,940	△1,940
株主資本合計	2,324,606	2,261,555
その他の包括利益累計額		
土地再評価差額金	△176,165	△176,165
その他の包括利益累計額合計	△176,165	△176,165
純資産合計	2,148,441	2,085,390
負債純資産合計	4,110,495	3,482,864

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2017年10月1日 至2017年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2018年10月1日 至2018年12月31日)
売上高		
完成工事高	1,318,729	1,126,260
不動産管理売上高	255,278	214,513
売上高合計	1,574,008	1,340,773
売上原価		
完成工事原価	1,077,982	992,497
不動産管理売上原価	192,632	165,546
売上原価合計	1,270,615	1,158,044
売上総利益		
完成工事総利益	240,746	133,762
不動産管理売上総利益	62,646	48,967
売上総利益合計	303,393	182,729
販売費及び一般管理費	228,552	211,805
営業利益	74,840	△29,075
営業外収益		
受取利息	8	0
匿名組合投資利益	900	900
その他	517	2,778
営業外収益合計	1,425	3,678
営業外費用		
支払利息	1,165	1,169
支払保証料	293	—
その他	1,039	308
営業外費用合計	2,499	1,478
経常利益	73,767	△26,875
税金等調整前四半期純利益	73,767	△26,875
法人税、住民税及び事業税	12,302	1,984
法人税等調整額	5,533	2,346
法人税等合計	17,835	4,330
四半期純利益	55,932	△31,206
親会社株主に帰属する四半期純利益	55,932	△31,206

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2017年10月1日 至2017年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2018年10月1日 至2018年12月31日)
四半期純利益	55,932	△31,206
四半期包括利益	55,932	△31,206
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	55,932	△31,206

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2017年10月1日 至 2017年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	電気工事業	建物管理 ・清掃業			
売上高					
外部顧客への売上高	1,318,729	255,278	1,574,008	—	1,574,008
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	209	209	△209	—
計	1,318,729	255,487	1,574,217	△209	1,574,008
セグメント利益又は損失(△)	83,859	△9,095	74,764	76	74,840

(注) 1 売上高の調整額△209千円及びセグメント利益又は損失の調整額76千円は、セグメント間取引の消去の額であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2018年10月1日 至 2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	電気工事業	建物管理 ・清掃業			
売上高					
外部顧客への売上高	1,126,260	214,513	1,340,773	—	1,340,773
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	239	239	△239	—
計	1,126,260	214,752	1,341,012	△239	1,340,773
セグメント損失(△)	△18,325	△10,751	△29,076	0	△29,075

(注) 1 売上高の調整額△239千円及びセグメント損失の調整額0千円は、セグメント間取引の消去の額であります。

2 セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。